

# ☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和3年1月12日 VOL. 148

## 清流館高校の学生が、道に迷った高齢者を保護！！

令和2年12月15日（火）18時頃、下校途中の高校生4人が道に迷った高齢女性を発見し、声をかけ自宅に送り届けました。高齢女性は一人暮らしであり、市外に住む娘が自宅に電話をしても繋がらず警察に相談し、捜索を行っていました。清流館高校にて、高校生にインタビューを行い、当時の様子を教えてもらいました。



サッカー部 2年生

### 高齢者をみかけたときの状況

18時過ぎにおばあさんが道路に背を向けて座り込んでいるのを通りがかりに気が付いた。始めは座っているだけかと思いき、2～3m程通り過ぎたが、よく考えると暗くて寒い状況の中で、おかしいと思い戻って声をかけた。

写真左から

増田卓巳さん(藤枝市) 増田愁斗さん(島田市)  
松本凌さん(藤枝市) 望月勇太さん(島田市)

### 声をかけたときの様子

『大丈夫ですか？』と声をかけたら、おばあさんは「転んじやった」と答えた。おばあさんに住所を聞いてスマホで調べた。家の人にお迎えに来てもらえたらいいなと思ったが、おばあさんが一人暮らしだと話したため、自分たちで送ろうと決めた。

### 家までの道のり

発見した場所からおばあさんの家まで1.7km。転んで膝を痛めていたため、休憩もとりながらゆっくり歩き、1時間程かけて自宅に辿り着いた。途中寒かったため、おばあさんにブレザーを貸した。おばあさんの家の前で、おばあさんの娘と会うことができた。おばあさんは「ありがとう」と言い家に入っていった。

### 今回の件で感じたこと

【増田卓巳さん】困ることは誰にでもある。助け合うことは大切。自分にとって良い経験になった。

【増田愁斗さん】当たり前のことをしたと思っている。感謝されて嬉しかった。感謝されることをもっとしたい。人に感謝をされると笑顔になるから、これからもしていきたい。

【松本凌さん】4人だから声がかげやすかった。一人の時もどんな状況でも異変に気づいたら積極的に声をかけることが大切だと思った。続けていきたい。

【望月勇太さん】感謝されることが嬉しかった。今回のようなことが身近なところで起こったら積極的に声をかけて助けていきたい。

・『安心して暮らせるまち』には、一人一人の気づきがとても大切です。今回のような当たり前の事と捉えて声をかけた高校生の行動が様々な人に広がっていくと良いと感じました。今後も多様な人々と“安心して外出できるまち”について取組みを考え、推進していきます！

